

2010.10.5~10.12
仙台・山形・福島・秋田・岩手・青森・千葉・埼玉
Winter Soldier in Japan

冬の兵士 (Winter Soldier) とは…

大義なきイラク戦争の開戦から2年目の2004年、イラクからの帰還兵らでつくる「反戦イラク帰還兵の会」(Iraq Veterans Against the War=IVAW)が発足。「イラクからの即時無条件撤退」「退役・現役軍人への医療保障その他の給付」「イラク国民への賠償」の3つの目的を掲げ行動を始めた。

2008年3月、IVAWは「冬の兵士」と題した公聴会を開催。多くの兵士たちが肉声で戦場の実態を告発した。以来、本にも収録され、アメリカ各地で小集会被開かれている。2009年には日本語訳の「冬の兵士」(岩波書店)も出版され、東京・沖縄・名古屋・大阪・京都などで証言集会被開催された。

「冬の兵士」は告発する。「テロリストとの戦いのためにイラクに来た。しかしテロリストは自分であり、アメリカこそテロ行為を毎日続けている」と。

事実を知らない人々に戦争の真実を知らせ、占領を終わらせることが、「冬の兵士」の戦いなのである。

日本ツアーの意義

彼らの真実を伝えるという戦いは、残念ながらアメリカでは大手マスコミや政府からは意図的に無視され、一般国民にはほとんど届いていない。日本もまた同様の状況の中、証言集会被に賛同する多くの団体・個人が力をあわせ、東北・関東の9都市でリレー証言集会被を開催できることになった。

冬の兵士

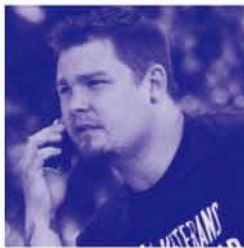
9都市リレー証言集会被

反戦イラク帰還兵の良心の告発

反戦イラク帰還兵の会(IVAW)の二名の元兵士を日本に招き、東北・関東の9都市でリレー証言集会被を開催!

イラク戦争の生の戦場体験や占領の実態の告白は、アメリカの姿とそのアメリカに軍事協力し続ける日本の姿をもあぶりだします。日本の平和のあり方を考える機会にもなることでしょう。

アメリカ人にとって、「冬の兵士」とは、国難に立ち向かい戦う者、本当の愛国者たちという意味があります。今、イラクからの帰還兵たちが、自分たちも「冬の兵士」として立ち上がり戦い始めたのです。



ジェフリー・ミラード
(IVAW会長)
陸軍3等軍曹・イラク戦争に13ヶ月、9年間米軍に勤務。ワシントンDCにおけるホームレス帰還兵のイニシアティブディレクターも務める。



ホセ・バスケス
(IVAW事務局長)
陸軍予備兵として14年間勤務する。IVAW事務局長としてアメリカにおける証言集会被を組織化。

「伝える」「ぶくろいもくろいの戦い！」

盛岡会場 **10月9日(土)**
10:30~12:40
岩手県産業会館 7階ホール
(サンビル)

北上会場 **10月9日(土)**
18:30~20:40
さくらホール 中ホール

参加費
500円

参加券の購入は、いわて生協各店、または実行委員会参加の各団体よりお求め下さい。

主催：「冬の兵士反戦イラク帰還兵9都市リレー証言集会被 in 盛岡」実行委員会
「冬の兵士反戦イラク帰還兵9都市リレー証言集会被 in 北上」実行委員会

問い合わせ先 TEL: 019-684-2225 / FAX: 019-684-2227 (岩手県消団連・岩手県生協連)

※岩手会場では、会場費・交通費などのかかる経費の一部を、宮静枝平和基金から利用させてもらうため500円の参加費にすることができました。

日米安保条約から50年、 「安保」から「日米同盟」への変質!

今、沖縄の苦しみと平和のあり方、基地問題を考えるべきとき

今年は、日米安保から50年にあたりますが、沖縄の普天間基地問題を通じて、平和憲法・9条と日米安保条約との本質的矛盾が、改めて国民の前にさらけられました。

前の戦争で「本土防衛」のために日本唯一の地獄のような地上戦を展開し、県民の半数近くが犠牲になった沖縄。終戦後は、米軍による土地取り上げや騒音・墜落、米兵犯罪による命の危険などの基地被害に苦しみ続けた沖縄。在日米軍基地の74%を押し付けられ続けた沖縄。海外唯一の海兵隊基地「普天間の県外移設」に裏切られた沖縄。

今、私たちは沖縄の人々の苦しみと平和への願いをどのように捉えるべきでしょうか。平和憲法がありながら、「米軍基地」と「核の傘」の存在を許してきた矛盾は見過ごすことができないほど大きくなっています。

マスメディアは「日米同盟の深化」という言葉を盛んに使用し、政府も「海兵隊は抑止力であり、沖縄の基地がアジアと世界の平和に貢献している」と宣伝しています。本当にそうなのでしょうか?

イラク戦争とは何か、アメリカはイラクで何をし、何をしようとしているのか

「冬の兵士」の証言は、アメリカ軍が世界で展開している軍事戦略やイラク戦争の本当の姿を伝え、普天間基地問題や日米同盟を真正面から考える貴重な機会になるのではないのでしょうか。安保条約50年の今年こそ、この「証言集会」の意義と重さがあります。このリレー証言集会は、各地の「実行委員会」が主催しますが、平和を願う市民一人ひとりの意思と願いが最大のエネルギーです。

そして、IVAWの皆さんとの連帯、IVAW支援カンパへのご協力をお願いします。



『冬の兵士』DVD ~良心の告白~

『冬の兵士』 ~イラク・アフガン 帰還米兵が語る戦 場の真実~

岩波書店刊
(定価1,900円+税)
お求めは各書店にて

2008年ワシントンDCで行われた証言集会の様子などを、日本の「冬の兵士製作委員会」がまとめたDVDが販売されています。購入希望の方は、以下のメールか、電話・FAXなどで直接お申し込みください。DVDと一緒に、代金(1枚3000円消費税・送料込み)振込み用紙が同封されてきます。帰還兵士たちの勇気ある証言と、戦争をやめさせたいという良心に心うたれます。(80分)
fuyunoheisi@gmail.com TEL/FAX 03-5950-4710

仙台・山形・福島・秋田・岩手・青森・千葉・埼玉 Winter Soldier in Japan 2010.10.5~10.12

10月5日(火) 18:00~20:30

仙台市福祉プラザ・ふれあいホール
主催:みやぎ弁護士9条の会、若手弁護士9条の会、
東北女性弁護士9条の会
問合せ先:佐藤由紀子法律事務所022-261-0758

10月6日(水) 13:30~16:00

山形市「遊学館2Fホール」
主催:「冬の兵士」証言集会in山形実行委員会
問合せ先:共立社山形生協023-686-6262

10月7日(木) ①13:00~16:30
②17:00~20:30

福島県文化センター小ホール
主催:イラク・アフガン帰還兵士証言in福島実行委員会
問合せ先:福島県生活協同組合連合会024-522-5334

10月8日(金) 18:00~20:30

秋田市民文化会館小ホール
主催:「冬の兵士」証言集会in秋田実行委員会
問合せ先:電話&FAX 018-864-3017(赤木)

10月9日(土) 10:30~12:40

盛岡市サンビル7階ホール
主催:「冬の兵士」反戦イラク帰還兵9都市リレー証言集会
in盛岡」実行委員会
問合せ先:岩手県生活協同組合連合会019-684-2225

10月9日(土) 18:30~20:40

北上市さくらホール中ホール
主催:「冬の兵士」反戦イラク帰還兵9都市リレー証言集会
in北上」実行委員会
問合せ先:実行委員会事務局0197-64-3685(千葉)

10月10日(日) 13:30~16:00

青森県藤崎町文化センター
多目的ホール南津軽郡藤崎町大字西豊田1-1
主催:青森県九条の会
問合せ先:青森県九条の会017-776-4400(金澤)

10月11日(月) 13:30~16:30

千葉大学法経学部105講義室
主催:「イラク帰還兵士の証言を聞く集い」千葉県内九条の会実行委員会
問合せ先:090-3082-5322(高橋)

10月12日(火) 18:00~20:30

さいたま市埼玉会館小ホール
主催:「冬の兵士」証言集会を成功させるさいたま実行委員会
問合せ先:実行委員会事務局048-833-1887

※この集会のために来日するIVAWのお二人は謝礼を辞退されていますが、各実行委員会としてはIVAWの運営支援となるよう、会場ではカンパなどの呼びかけをする予定です。ぜひご協力をお願い致します。

●開催日時・場所・参加費などについてのお問合せは、各地の実行委員会へ。またはコーディネート先(岩手県生協連019-684-2225/Email:sn.ikenren@todock.jp)まで